

未来力開発グループ基本方針

担当副理事長 柳田 将伸

言葉で表せる知識は、誰もが容易に入手できるようになり、知識がその価値を小さくしている社会において、我々は子どもに何を伝えるべきか。そして、地方創生の掛け声のもと、各地で同じような目標と計画を掲げ、予算を獲得して事業に取り組む、行政主導による地域活性化の構造的な限界に対して、我々は何をするべきか。子どもとまちの未来の為に、変革の能動者である J C は、時代の核心を捉えた運動を創造し続ける必要があります。

まずは、子どもたちの体験を充実させられる地域社会の環境づくりに向けて、子どもだけでなく親も共に成長できる機会を作り出します。そして、子どもたちの生きる力を伸ばしていく為に、地域における体験活動を通して、困難に挫けない心の強さを育みながら、個々の自主性を引き出せる機会を創出します。さらに、それぞれの機会を、静と動の観点から計画的に構築することによって、取り組みの相乗効果を図り、子どもたちが地域を能動的に変革できる人間に成長する土壌を醸成します。また、まちづくりにおいては、少子高齢化、人口減少をはじめとする未知の難局に直面する時代だからこそ、我々は地域活性化の本質と正面から向き合うべきです。まずは、実施する事業を地域に根付かせる素地を作る為に、事前に徹底的な調査・分析を行い、ブランディングまで視野に入れた計画を構築します。そして、たとえ規模は小さくとも、圏域ならではの魅力を生かした内発的な経済の循環を組み立てます。さらに、試行錯誤を重ねながら、まちづくりに挑戦する情熱をもって、地域に共感の輪を広げ、官民一体となって循環の仕組みを磨き上げていきます。

限りある人生の一瞬をいかに生き抜くかという覚悟と、失敗を恐れず前に進み続ける勇気を持った我々 J C の志ある挑戦が、互いの魂を揺さぶりながら高め合い、この圏域の未来を輝かせる光となり、子どもたちとこのまちに溢れている無限の可能性を掴み取ります。